

## 若葉の<sup>まぶ</sup>眩しい季節になりました。

街で新しいランドセルを背負った新一年生を見かけると、「健診の季節だな」と気がつきます。私は、幼稚園の園医、小・中学校の校医を務めさせていただいています。この時期は毎年、小学校・中学校の様々な健康診断が実施されます。学校保健法という法律に定められた、子供たちが健全に学校生活を送るための大切な視力健診について、「目からウロコ」に書かせていただきました。

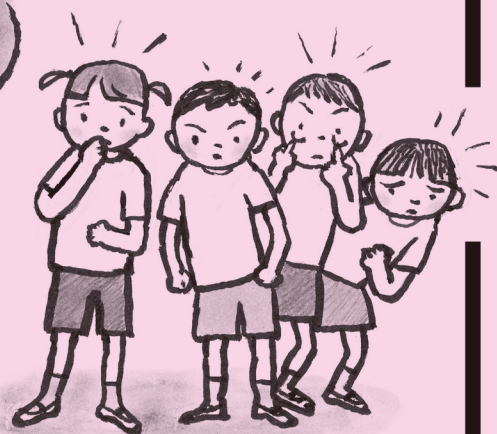
また、今号で「閃輝暗点」を取り上げました。視覚に症状が現れますが、実は、片頭痛の一部という病気です。こんな症状がでたら、ぜひご相談ください。

お子さんの健診で、困るのは「泣かれる」こと

2017年・春  
くまがい眼科院長  
熊谷和久

子供と視線を  
あわせるために  
床にすわって  
診ることも  
あります

だいじょうぶ  
だよ



**院長の紹介** 1953年熊本市に生まれる。1977年熊本大学医学部を卒業後、大学病院・市民病院で眼科診療に従事。1987年に上京し、眼科診療の傍ら、西洋医学と東洋医学を融合した「タニクリニック」で学び、中医学(中国伝統医学)の中心「北京中医学院」に留学し、東洋医学を研鑽。1992年、当地駒込にて眼科クリニックを開業。現在は豊島区の中学校1校・小学校2校・幼稚園6カ所の眼科校医・園医も勤めています。中医学に加えて、「日本胎盤臨床医学会(プラセンタ治療を志す医師の会)」、「ボトックス治療専門医」や「抗加齢医学(アンチエイジング)専門医」などの資格も取得し、プラセンタ治療の緑内障への応用など新しい治療法を取り入れている。これからの医療のあり方を模索している「トータルライフ(TL)医療研究会」にも所属しています。

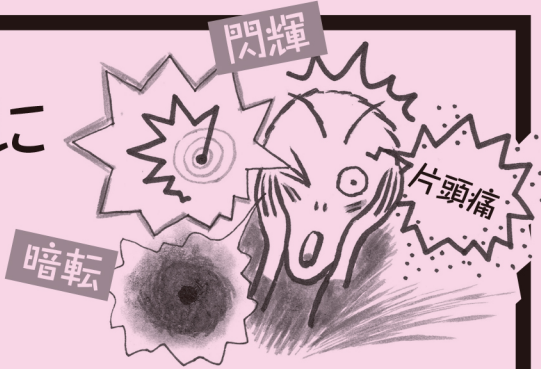


## 閃輝暗点

せんきあんてん

視野の一部にキラキラした点が現れ、ギザギザした幾何学模様の稲妻のような光が渦巻き状に広がって見える。同時に、見ている部分は暗くぼやけて見える(中心暗点)。典型的な場合には、その後に片頭痛を伴うことが多い。視覚に現れる症状だが、眼球の病気ではなく、後頭部の脳血管の収縮とその後の拡張が原因と考えられている。

# 突然、目の前に ギザギザ。 ピカピカした 光が!!



### 症状

左右どちらかの視野に、突然光る点が現れ広がってゆき、ギザギザしたノコギリの歯のような光『閃輝』が、渦巻状に拡大します。「ガラスの破片のような幾何学模様のチカチカした光が見える」と表現される方や、「湖面が光を反射している感じ」を訴える方も多くおられます。同時に、見ようとしている中心部が、暗くなったり歪んだりして、見え難くなる『暗点』も起こります。時間的には数分から40分くらい続きます。外界に実際にある光ではないので、目をつぶって(外の光を遮断して)もこの光は見えます。その後、片頭痛が起こることが多く、吐き気や嘔吐を伴うこともあります。特徴的なことは、『閃輝』は視野の半分のみ限定されて現れ、反対側の視野に広がることはないことです。

## 原因 症状は視覚に現れますが、眼球の病気ではありません。

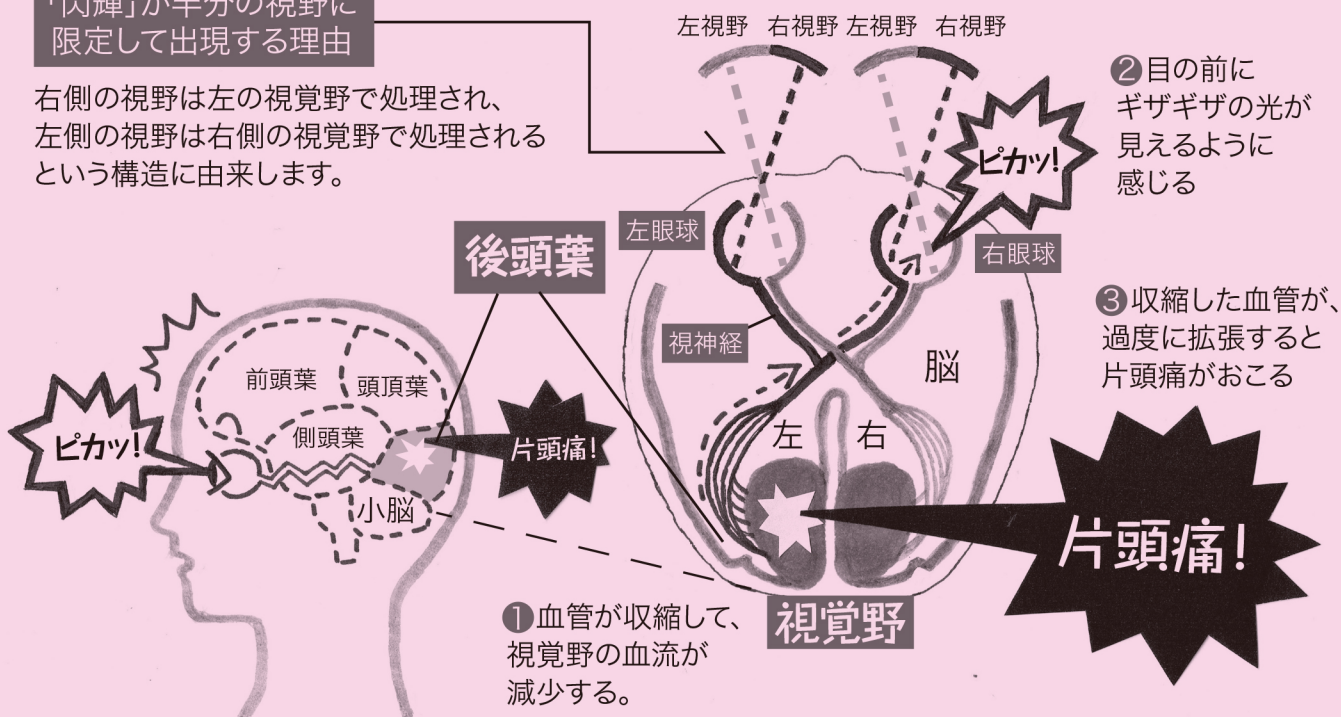
脳の後頭葉にある「視覚野」という、「眼球で受けとめた画像が処理される部分」の血流異常が原因の病気です。最初は血管の収縮で視覚野への血流が減少して、画像処理が上手く出来なくなり、実際にはない光を感じるようになります。その後は、一旦収縮した血管が、過度に拡張することによって頭痛が起こってくると考えられています。頭痛の分類では、片頭痛を「閃輝暗点を伴う片頭痛」と、「閃輝暗点を伴わない片頭痛」に分けています。

視覚異常(目の中に突然光が見えるなど)があるため、患者さんは眼科を受診されることが多いのですが、

## 病気自体は頭痛のひとつである『片頭痛』と考えられています。

### 「閃輝」が半分の視野に限定して出現する理由

右側の視野は左の視覚野で処理され、左側の視野は右側の視覚野で処理されるという構造に由来します。



### 発症の誘因

過労や、睡眠不足などのストレス、チョコレートやワインの摂取などが挙げられています。また、女性の場合には生理との関連(多くは開始時点)も言われているようです。



**Q** どのように**診断**するのですか？

**A** 「詳細な問診」で診断します。また、閃輝暗点とよく似た症状の「光視症」を起こす眼底疾患の有無を調べるために散瞳下眼底検査をします。

光視症は、網膜と硝子体の間の強い癒着が原因で、閃輝暗点のように実際にはない光がピカッと見える症状です。同じように、目を閉じて光がみえますが、その時間は一瞬なので、分単位に持続する閃輝暗点とは区別が可能です。

散瞳下眼底検査・瞳孔を広げる薬を使って眼球の奥の状態を調べる検査

**Q** どのように**治療**するのですか？

**A** 基本的には片頭痛の治療薬の頓用で治療します。発症頻度が多い場合、当院では漢方薬内服での治療も併用します。

## 片頭痛治療薬の服用

閃輝暗点が始まったらすぐに服用すると、閃輝暗点の発作が中断して、症状の時間が短縮されると言われています。頓用(症状が現れたときに薬を飲む)としての使用です。

当院では、エルゴタミン製剤(商品名はクリアミンAなど)を処方することが多かったのですが、妊娠中・授乳中の方には使用できないなど、若い女性には不向きな薬剤でもあるため、今後は頭痛の専門医の間でよく用いられているトリプタン製剤も使用することを考えています。

## 漢方薬による内服療法

この場合は頓服ではなく、毎日、内服(1日に回数を決めて服用)することが必要になります。

東洋医学では、首から上の症状(めまい・頭痛・目の充血・耳鳴り・まぶたのピクピクなど)は、陰陽のバランスが崩れて陽気が上に昇ってそれらの症状を起こすと理解し(肝陽上亢あるいは肝火上炎と言います)、上方に昇った陽気を下げるはたらきの漢方薬(釣藤散・柴胡加竜骨牡蠣湯・抑肝散など)を、単独あるいは混合して用います。

かなり有効だと感じます。

**Q** どんなことに**注意**したらよいですか？

**A** 神経内科や脳神経外科を受診して、精密検査を受けたほうが良い場合があります。

閃輝暗点の多くは、脳内の病気とは直接関連はないことが多いのですが、中年以上の方で、何度も同じ症状を繰り返す場合や、閃輝暗点のみで片頭痛は生じないという方は、一度神経内科などを受診し、必要に応じてCT(コンピュータ断層撮影法)やMRI(核磁気共鳴画像法)による精密検査を受けて、脳腫瘍・脳梗塞など他の疾患がないか、調べておく方が安全と言われています。

気になるときは、自己判断せずに、医療機関を受診して下さい。

## Book

頭痛専門医 山田洋司・著

## 頭痛が治る、未来が変わる！

頭痛の分類・治療などは専門医でないとわからない面もあり、眼科医の私が、折に触れて相談させていただき頭痛専門医の山田洋司(やまだひろし)先生のご本を紹介いたします。

山田先生は、以前からお付き合いのある脳神経外科医で、現在は、「頭痛専門医」として活躍されています。

治療を考える上で、「頭痛の頻度で4層に分類する」というユニークな診断法を提唱され、頭痛診療の最前線で様々な症例に取り組んでおられます。ぜひ、ご一読ください。



すべての頭痛を  
4つに分類し、  
新たな治療の道を開く！



## 春の視力検査 「3.7.0方式」



都内の小中学校では、だいたい5月中に視力検査や眼科検診などが実施され、眼科受診を勧める文書が学校から父兄に届き、お子さんたちが家族と一緒に眼科を受診されることとなります。学校健診では、眼鏡・コンタクトレンズを使っていないお子さんは裸眼視力(眼鏡をかけない視力)を計測し、使っているお子さんは、矯正視力(眼鏡をかけた視力)を計測します。この健診は、学校生活に問題がないかどうかを知ることが目的なので、病院で行うような0.1刻みでの検査ではなく、1.0と0.7と0.3の3つの指標を使う「3.7.0方式」で検査され、以下のように判断されます。

判定	視力	学校生活	眼科受診
<b>A</b>	<b>1.0</b> が見える (1.0以上の視力)	基本的に、問題なし	不要・文書は出ません
<b>B</b>	1.0は見えないが <b>0.7</b> は見える (0.7~0.9の視力)	多くの場合問題なしと 考えられますが、A状態から 視力低下が始まっている 可能性もあります	視力低下の原因を調べるため に、眼科受診が勧められます
<b>C</b>	<b>0.3</b> が見えるが 0.7以上は見えない (0.3~0.6の視力)	座席により黒板の字が見えず 授業に差し障りが出ます	視力障害の原因や眼鏡・コン タクトレンズの使用が必要か どうかを調べるために眼科 受診が必須です
<b>D</b>	<b>0.3</b> が見えない (0.3未満の視力)	黒板の字を見るのにも問題が ある視力。かなり不便	

通常は、検査の結果、遠視や近視や乱視などの屈折異常が見つかり、経過観察だったり眼鏡を処方されたり、調節緊張症(いわゆる仮性近視)で、点眼薬での治療などが始まります。

この検診によって、弱視という視力の発達異常が発見されたり、心因性視力障害という、ストレスからくる視力障害が見つかったりする場合が稀にあります。これらは知らずに放置されてしまうことが多い症状なので、学校健診はそれを発見する貴重な機会でもあります。

### くまがい眼科インフォメーション

くまがい眼科/ホームページアドレス  
<http://kumagai-ganka.com/>



診療時間 午前9:30~午後1:00 午後3:00~午後6:30

	月	火	水	木	金	土	日・祝	臨時休診日
午前	○	○	休診	○	○	○	休診	6月3日(土) 6月17日(土) 7月29日(土)
午後	○	○	休診	○	○	休診	休診	

☎ 03-3910-2472

〒170-0003 東京都豊島区駒込6-26-16  
サカガミビル2F

### 交通機関



東京メトロをご利用の場合  
■ 南北線・駒込駅より徒歩10分  
■ 南北線・西ヶ原駅より徒歩10分

JRをご利用の場合  
■ JR山手線・駒込駅より徒歩10分  
■ JR京浜東北線・上中里駅より徒歩10分

バスをご利用の場合  
■ 茶51路線(駒込駅南口→お茶の水駅前・秋葉原駅前)駒込駅下車徒歩10分

### お願い

散瞳検査を行う可能性がある場合は、お車での来院を、お控えください。

車をご利用の場合  
■ 近隣の有料駐車場をご利用ください。(多数あり)